

【1】フェイスが創造した『着メロ』のビジネスモデル

当社は 1994 年にパソコン通信ニフティを利用して日本で初の音楽データダウンロード販売開始。

当時は社団法人 MIDI 規格協議会(現 AMEI/社団法人音楽電子事業協会)のメンバーとして JASRAC とインタラクティブ配信に関わる著作権料について交渉。そのノウハウを生かし、世界初の着信メロディをダウンロード販売するためのビジネスモデルを検討。しかし、1999 年当時、JASRAC に着信メロディというカテゴリーが存在せず。AMEI にモバイル部会を発足、当社が中心となって JASRAC と交渉。

主に以下の点を解決することを条件に、フェイス独自の着信メロディフォーマット (CompactMIDI) を提唱。現在、NTTDoCoMo では MFi フォーマット、CDMA 端末(米 Qualcomm 社)には CMX フォーマットとして世界の CDMA 圏全て(数十カ国)で採用されている。

- ・配信されたデータはその端末から出てはならない
- ・複製されることが無い
- ・着信音用途のデータであることが明示されること
- ・権利元名称や管理番号などの情報をデータ中に収納できること
- ・権利元が、データの内容をチェックできる方法があること

【2】オーディオレコード生産総額と JASRAC 徴収額の比較

CD 販売量の激減。それに対して音楽著作権徴収額の増加。その原因を慎重に分析する必要がある。

オーディオレコード生産総額(*1)

1996 年 / 約 5,839 億円 2004 年 / 約 3,774 億円

JASRAC 徴収額(*2)

1996 年 / 約 900 億円 2004 年 / 約 1,108 億円

JASRAC 徴収額の内訳(*2)

1996 年 / 使用料収入合計: 約 900 億円

演奏: 約 380 億円

録音: 約 400 億円

出版: 約 15 億円

貸与: 約 40 億円

通信カラオケ、インタラクティブ: 約 60 億円

2004年 / 使用料収入合計: 約 1,100 億円

演奏: 約 451 億円

録音: 約 442 億円

出版: 約 16 億円

貸与: 約 38 億円

通信カラオケ: 約 59 億円

インタラクティブ配信: 約 93 億円

*1) 日本レコード協会資料より

*2) 社団法人日本音楽著作権協会 (JASRAC) 資料より

【3】2004年の携帯電話の世界シェア

日本の携帯電話は世界をリードしているとは言えない。

ノキア 30.7%

モトローラ 15.4%

サムスン電子 12.6%

シーメンス 7.2%

LG電子 6.3%

ソニー・エリクソン 6.2%

その他 21.6%

合計約 6 億 7400 万台

米ガートナー調べ

以上